

鮫川村100年のあゆみ

元号	西暦	できごと
明治5	1872	^{じんこう} 人口3119人、481戸
6	1873	西野小学校、西山小学校ができた。 富田村、赤坂東野村、赤坂中野村、石井草村、赤坂西野村の ^{じむ} 事務所は塚本に、 ^{つかもと} 渡瀬村は中塚 ^{なかつか} においた。
7	1874	^{たなくら} 棚倉に会所（ ^{かいしょ} 郡役所）ができた。 よい馬をそだてること ^{くんやくしょ} がさかんになった。
9	1876	湯の田の湯が開かれた。
11	1878	白川郡が東白川郡となった。
12	1879	^{おにこえ} 鬼越、赤坂、富田にあった郵便取あつかい所を一か所に集め、 ^{ゆうびんきょく} 赤坂中野郵便局とよぶようになった。 鮫川小、渡瀬小ができた。
16	1883	^{ようさん} 養蚕の教師 ^{きょうし} をまねいた。このころから ^{ようさん} 養蚕がさかんになった。
19	1886	^{ぐんいせいど} 郡医制度ができた。
21	1888	中野にちゅうざい所 ^{ちゅうざい} ができた。
22	1889	7か村を集めて、鮫川村ができた。 第1回の村会議員の選挙 ^{せんきよ} が中野の長遠寺 ^{ちやうおんじ} で行われた。 中野に役場ができた。
23	1890	赤坂中野 ^{そんいしつ} に村医室をつくった。
27	1894	鮫川消防組 ^{しやうぼうくみ} ができた。青年会 ^{せいねんかい} ができた。
34	1901	赤坂中野 ^{ほん} に盆市 ^{くれ} や暮市が開かれた。 ちゅうざい所 ^{なめりいし} が滑石にできた。 きょうさくで米がみのらず、村の人はたいそうこまった。 大ぼう風で家がたおれた。人口4291人。 馬の数229頭。牛の数ゼロ。90cmも雪がつもった。
35	1902	鮫川小と渡瀬小 ^{こうしゃ} の校舎ができた。
37	1904	日露戦争 ^ろ で17名 ^{せんし} 戦死した。きょう作で村の人はこまった。